

大山たか子通信

高ちゃんつうしん

* 2022.1 No.54 *



市議会:087(839)2831 自宅:087(888)3272

eメール:takachan@mxi.netwave.or.jp HP:http://wwwi.netwave.or.jp/~takachan/

今年こそコロナを乗り越え、皆様の笑顔溢れる年となりますことを心よりお祈り申し上げます

今年寅年ですが、「果敢に決断してよく艱難に耐え、大成功を得ることもある」という意味があるそうです。オミクロン株の感染が急拡大し、厳しい状況ではありますが、必ずコロナを乗り越えて、笑顔溢れる社会の実現のため、「小さな声を聴く力」「ネットワーク政党公明党」の機能を大いに発揮し、お一人お一人に寄り添い、お声に耳を傾け、課題解決に頑張っ

て参ります。
「踏まれても踏まれてもなお咲いたんぼの笑顔かな」私の大好きな言葉です。今年も尚一層どうぞよろしくお願い致します。



1月1日 谷あい正明参議院議員、山本博司参議院議員と一緒に新春街頭演説を行いました。街頭演説は私たち公明党議員の大事な活動の柱の一つです。今年元旦からスタートしましたので、元気に今後も皆様に分かりやすく政策等をお伝えできるよう取り組んで参ります。



1月4日
地元地域での
街頭演説を行
いました。



1月9日 山崎昌恭衆議院議員と一緒に、高松市成人式参加の皆様に向けて、街頭演説を行いました。



11月29日 大西市長へ高松市議会公明党議員会として、2022年度予算編成に対して、要望書を提出しました。



質問

新型コロナ対策について

- ① 土日でもワクチン接種できる病院の拡充とその病院の見える化や仕事帰りや学校帰りに接種を希望する若者がスムーズに接種できる環境整備についての考えは？
- ② 子育て中の女性が子供を預けて、安心して接種が受けられる環境整備についての考えは？
- ③ 妊婦の方々が安心して出産が迎えられるように、妊娠中の方々へ産婦人科医からの正しい情報伝達をし、その産婦人科医院での優先接種が可能となるようにすること、併せて配偶者への接種も可能とすることなどに取り組む考えは？
- ④ 本市のムービチャンネルによる配信など、動画を活用し、本市として正確な情報発信を強化していく考えは？
- ⑤ コロナ感染症における自宅療養者等に対して、生活支援を行政全体で行うなど支援強化を行う考えは？



答弁

- ① 休日・時間外に接種できる医療機関等を確保するとともに、引き続き、接種予約が可能な医療機関一覧を作成するなど、若者が接種しやすい環境づくりを進める。
- ③ ワクチン接種に協力を頂いている産科・産婦人科に対して、妊婦の方々、その配偶者への早期のワクチン接種に協力頂くよう依頼し、必要な追加ワクチンを最大限配分するなど配慮していく。

質問

災害対策について

- ① コロナ禍での避難時等において、通信アプリ「LINE」を使い分散避難をしている被災者の避難先を把握し、的確な支援につなげるなど市民が臨機応変に行動できる環境づくりについての今後の取組みは？
- ② 災害時における聴覚障がい者への情報伝達として、NHK高松放送局や地元の民放局が、生活圏域に重要な気象や防災情報を伝える際には、遠隔手話通訳の活用を含め、必ず手話通訳を配置することや難聴者や中途失聴者のために、字幕付与を放送局に要望する考えは？
- ③ 本市が発信する大規模災害時等の特に重要な防災情報については、手話通訳の配置や字幕付与した動画を配信する考えは？
- ④ 避難所における聴覚障がい者へ、災害時用バンダナ配布やタブレットによる遠隔手話通訳を行うなど、情報伝達とコミュニケーション支援についての考えは？

答弁

- ① LINEを活用した「分散避難等把握・支援システム」については、有効な手段の一つであるので、検証結果を注視し、より安心して分散避難し、臨機応変に行動できる環境づくりについて検討する。
- ② 障害者差別解消法が改正され、民間事業者等においても令和6年6月までの間に、障がい者への合理的配慮が義務化されたことから、緊急時における防災情報の発信にあたり、啓発活動の一環として、できるだけ速やかに関係者と協議する。
- ③ 特に重要な防災情報には、手話通訳の配置や字幕を付与した動画配信を行うなど、聴覚障がい者に配慮した、きめ細やかな情報発信を検討する。
- ④ 避難所でのタブレット活用については、今後、各地域コミュニティ協議会に配置予定のタブレットの活用も含め、具体的な手法等について検討する。バンダナの配置については、調査研究する。

質問

女性活躍推進について

- ① 新型コロナ感染症の拡大により「女性不況」の様相が確認されている中での「女性活躍・男女共同参画の重点方針2012」の受け止めは？
- ② 「コロナ対策の中心に女性を」と掲げられ、女性のデジタル人材育成の推進についての取組方針は？
- ③ コロナの影響を厳しく受けているひとり親に対する職業訓練についての取組拡充の考えは？
- ④ スマートシティたかまつ推進協議会に、女性のデジタル人材の育成を進めるワーキンググループを設置することを提案し、高松型女性デジタル人材育成事業を考えては？

答弁

- ③ 今後、給付金の対象資格の拡充について、検討する。
- ④ ワーキンググループの設置については、まずは、協議会会員で協議を行っていく。



質問

① コロナ禍収束後を見据えた観光振興策の一つとして、高松観光大使を更に活用する考えは？

② 労働と休暇を組み合わせた、本市の「楽しいワーケーション」の状況と今後更に積極的に取り組む考えは？

③ 市民のシビックプライド醸成に資する楽しい企画を行う考えは？

※シビックプライド・・・市に対する誇りを持つことであり、地元に対して貢献したいと思う気持ちのこと

観光振興について

答弁

③ 多くの市民の方々に参加していただけるような楽しい企画を検討するほか、広報高松をはじめ各種媒体を通じ、新たな魅力をPRし、参画を促すなど取り組んでいく。

質問

① 奨学金返還に苦しんでいる若者を支援する

ため、奨学金の返還支援により、若者の定着を促進する考えは？

② 中小企業や介護施設の人材確保策として、事業所と連携し、奨学金の代理返還制度の活用を促進する考えは？

若者に選ばれるまちづくりについて

答弁

② 中小企業や介護施設の人材確保につながるため、今後、各種広報媒体を活用して、事業所への周知・啓発を行うと共に、事業所と連携を図り一層の人材確保に取り組む。

質問

① 50人に1人とも言われている弱視のリスクを早期に発見し、治療する為に3歳児健診の視力検査に屈折検査を速やかに導入する考えは？

② ひとり親家庭の為に、養育費不払い解消に向けた積極的取り組みについての考えは？



答弁

① 国の動向を注視するとともに、小児科医に助言を頂きながら検査機器の導入を検討する。

② 他の自治体の取組状況の調査結果を踏まえ、ひとり親世帯の養育費不払い解消に向け、可能な支援策について検討する

子育て支援について

質問

① 環境汚染の原因ともなるプラごみを減らすためのプラスチック資源循環促進法の受け止めは？

② ゼロカーボンシティ宣言を行った本市として、今後、プラスチック製品を一括回収するなど、資源として循環させる考えは？

ゼロカーボンシティ実現に向けて

答弁

② 新法の趣旨を踏まえ、今後、国から示される基準や財政支援策を検証しながら、ゼロカーボンシティの実現に繋がるよう、対応策を検討する。

質問

若年がん患者の在宅療養に対する支援及び

人工乳房やウィッグの購入費用の助成制度を創設する考えは？

がん対策について

答弁

国や県の動向を注視し、まずは、個々の患者の状況に応じた多様なニーズに対応する助成制度のあり方について調査研究する。



質問

① 児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議の審議結果についての所見は？

② 子どもの危機を発信するための多様なチャンネルの一つとして、1人1台端末を活用した取り組みやICTを活用した相談体制を構築する考えは？

③ 通学路の安全対策について、これまでの合同点検を踏まえ、今回、地域住民の声や子どもの視点に配慮した危険箇所の洗い出しや対策の検討方法は？

④ 地域の実情に合わせた対策を検討・強化し、子どもたちが安心して学校へ通える環境整備を更に取り組む考えは？

教育問題について



11月29日 N・ニューリバー(河川敷清掃G)の出動!! 厳しい朝の冷え込みでしたが、終了後には汗がいっぱいです。参加メンバーは何と28名で、ごみ袋約70個でした。平成19年11月から始めて15年目に入りましたが、一緒に活動して下さる方がいるから継続できます。本当にありがとうございます。



12月25日 高松西ライオンズクラブの献血アクティビティに参加しました。

コロナ禍で血液が足りない状況が続いています。血液は人工的にはできず、大勢の患者さんが必要とされています。どうか何かの機会がありましたら、献血へのご協力をお願いします。



12月7日 手話言語フェスティバルに参加してきました。

手話言語条例等を制定している高松市を含め5市の現在の取組と今後についてのディスカッションがとても参考になりました。午後からは全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画「咲む」を鑑賞し、とても感動しました。



あっちこっち高ちゃん



11月27日 高松西ライオンズクラブの一員として、峰山公園清掃を行いました。

12月26日 先天性の重度の障害をもつMさん宅を山本ひろし参議院議員と訪問しました。

彼女から頂いた要望は、市ではなかなか対応できないため、やはりこれは国が制度の見直しをしないとできないのではと、公明党のネットワークで山本議員につなぎ、詳しく話を聞いて頂きました。すぐには実現できないかもしれませんが、何とか要望を叶えたいと思います。



編集後記



今年の高松市は、3月に高松国際ピアノコンクール、4月には瀬戸内国際芸術祭と大イベントが続きます。厳しいコロナ禍ではありますが、基本の対策を気を緩めることなく一トーンが徹底し、何とか大成功させていきましょう。